

柴島中学校歴史マップ&施設案内

② 水道記念館

まず目につくのは記念館の趣のあるたたずまい。昭和61年まで大阪市のポンプ場として稼動していた「旧第1配水ポンプ場」がそのままに残されている。そしてそのレンガ造りの建物の中に1歩足を踏み入れると、大阪市水道100年の歴史と、それを支える琵琶湖・淀川水系の淡水魚について学べる展示が盛りだくさんで季節ごとにイベントも行なわれている。

(平成29年10月1日リニューアル)



③ 柴島神社

貞永元年(1232)近郷が大洪水にあった時、「仲天皇の森」と呼ばれた当高台へ人々が避難していたところ、柴の木に乗った小社が漂着し、人々も助かった為、以降、社を建てたのが最初といい、柴島の名にゆかりあると伝える。御神刀は府指定文化財。



④ 柴島城跡

武将十河一存の築城と伝う。

天文18年(1549)三好長慶がこの城を拠点とした。元和3年(1617)から6年間、智将稻葉紀通が居城として現在の柴島から南江口までの淀川べりを治めていたようで、廃城になったのはいつか不明である。



東淀川区役所出張所
東淡路第3住宅

至 北三里・桂



東淡路商店街

至 吹田貨物ターミナル

至 吹田貨物ターミナル

至 城東貨物線

至 東淡路町公園

至 東淡路駅前交番

至 東淡路第5振興町会集会所

至 東淡路会館

至 東淡路南公園

至 東淡路小学校

至 東淡路5丁目

至 エディオン東淡路店

至 ライフ東淡路店

至 東淡路郵便局

至 エバーグリーン淀川

至 さかえ保育園

至 東淡路1丁目

至 東淡路3丁目

至 東淡路2丁目

至 東淡路4丁目

至 東淡路5丁目

至 東淡路3丁目

至 東淡路2丁目

至 東淡路1丁目

至 東淡路4丁目

至 東淡路5丁目

至 東淡路3丁目

至 東淡路2丁目

至 東淡路1丁目

至 東淡路4丁目

至 東淡路5丁目

至 東淡路3丁目

至 東淡路2丁目

至 東淡路1丁目

至 百済



① 柴島浄水場

大阪市では、明治28年11月に「桜の宮水源地」が創設され、水道事業がはじまったが、その後の拡張事業により、柴島に水源地の建設が計画されました。そして、当時東洋一といわれた「柴島水源地」が大正3年3月に完成し、その規模は、給水能力(一日に最大送り出すことのできる水量)15万1800立方メートル。現在は、給水能力118万立方メートルにまで発展し、敷地面積51万平方メートルのなかには配水池やポンプ場、高度浄水処理棟などの設備が配置されている。配水池上部の有効利用として、市民の方に利用いただけるテニスコートなども建設。また現在は、従来の疑集沈でん・急速ろ過処理にオゾン処理および粒状活性炭処理を追加した、より安全で良質な水をお届けするために「高度浄水処理」を実施している。隣接する水道記念館の美しい建物や目に鮮やかな広い芝生地帯に、休むことなく安全で良質な水を送り続けてきた水道の歴史が刻まれている。

②

水道記念館

くにじまテニスコート

柴島 1 丁目

① 柴島浄水場

至 天神橋筋6丁目

⑤

⑥

⑦

⑧

⑤ 善教寺

解脫山と号し、延徳2年(1490)信保の創建になる。信保は俗名を辻本忠右衛門と称し連妙上人に帰依した。天文13年(1544)三世西善のとき、寺号を受け明治33年8月、淀川改修工事のため現在地に移転した。当時の礎石が残る。



⑥ 法華寺

天平13年(741)聖武天皇が、全国に国分尼寺の建立を発願されたが、これが摂津国分尼寺にあたるといわれている。その後衰退し、寛永16年(1639)柴島浄水場付近に再建されたが、その拡張により現在地に移転した。当時の礎石が残る。



⑦ 萬福寺

浄土真宗本願寺派、本尊阿弥陀如来。寛正4年(1463)創建。その年、蓮如上人真筆の元祖法然上人から法脈20人連坐の真影を寺宝としている。太平洋戦争により、戦災をうけたが、昭和27年再建した。



⑧ 願力寺

香巌山と号し、真宗大谷派に属す。本尊は阿弥陀仏である。創建の時代は詳かでないが、延宝5年(1677)に願力寺の寺号を受け寛政年間(1789~1801)住持の賢莊をもって、中興の祖とする。



《作成者》 柴島中学校 生徒会

平成30年3月作成